

H30 年度 専門領域推進部スポーツ理学療法領域研修会 活動報告書

名称：アスリートの腰痛に対するシステマティックな評価とアプローチ

講師：成田 崇矢 先生（健康科学大学 健康科学部 理学療法学科 教授）

日時：平成 30 年 9 月 2 日（日） 9：00 ～ 16：05

会場：山形医療技術専門学校 治療室

活動内容：研修会の運営

スタッフ：佐藤治（高柳整形クリニック）、大原隆洋（北村山公立病院）、須貝雄大（公立置賜総合病院）、山本洋介（山形徳洲会病院）、宮本昌尚（北村山公立病院）、沼澤慎介（山形徳洲会病院）

活動内容は運營業務を中心に司会進行、受付、会場係、講師接待であった。

参加人数においては、県外からの申し込みもあり、目標としていた人数にほぼ近い 59 名の参加があった。参加者の年代は比較的若い先生が多かった。

本研修では腰痛に対してのリハビリテーションはストレッチ、あるいはコアエクササイズといったステレオタイプの治療ではなく、機能評価を行い適切な理学療法を行っていくことの重要性を気づかせてくれるものであった。その機能評価の理解の為に講義前半は、病態についての内容であった。基礎となる解剖から最新の知見をふまえ、椎間板性腰痛と椎間関節性腰痛についての理解を深めることができた。後半は疼痛除去テストや細かい機能評価を、実技を交えながら講義頂いた。病態の講義が前半にあったおかげで疼痛除去テストを実施した際のイメージがより鮮明になった。実際に受講生に対しデモを行い、疼痛が除去されることが分かったがそれに留まらず、なぜそこに痛みが発生するのかまで考え対処することこそ理学療法のあるべき姿と気が付くことができた。講義終了後に、スポーツ理学療法領域登録会員勧誘のアナウンスも行い、本研修会の復習会を開催予定である。

講師の先生は、良い結果を提供するため、さらには理学療法士の立場を守るために、Dr としっかりと意見交換をする必要があるとおっしゃっていた。気が付くことが多くあり、非常に有益な研修会になったのではないかとと思われる。



文責：沼澤慎介